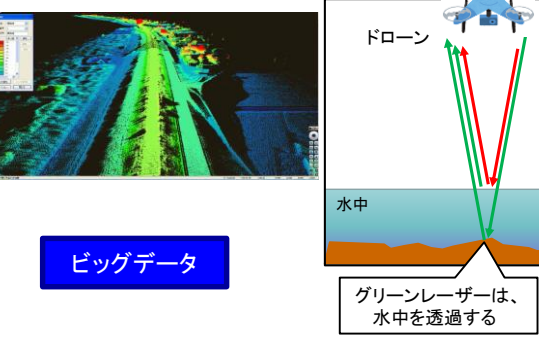
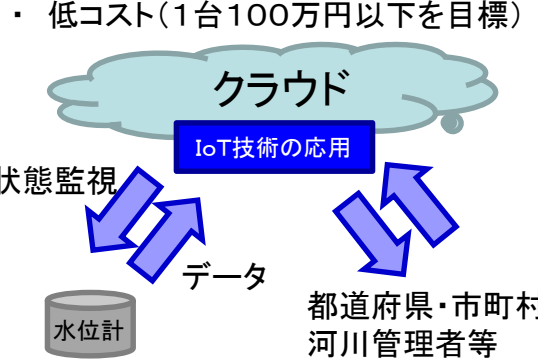

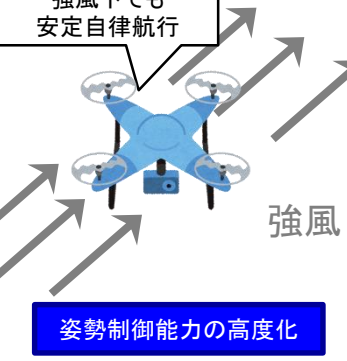


革新的河川管理プロジェクト(第一弾)

オープン・イノベーションを採用し、最新の科学技術を、スピード感をもって、6ヶ月～1年以内で河川管理への実装化を目指す。

<p>今回 河川管理の高度化</p> <p style="text-align: right;">IoTの実装 ビッグデータの実装</p>	<p>クラウド型・メンテナンスフリー 水位計</p>	<p>100km以上飛行型 ドローン</p>	<p>全天候型ドローン</p>
<p>陸上・水中レーザードローン</p>	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期投資がかかる 維持管理コストがかかる <p>水位計 普及の隘路</p>	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 発災直後のヘリの確保 道路の復旧が進まない と調査ができない 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 台風接近時に現地確認 手段が不足
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在のドローン測量では植生下は× 航空レーザー測量はコスト大 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期メンテナンスフリー 省スペース → 設定場所を選ばない (橋梁等へ添架) 通信コストの縮減 クラウド化でシステム経費の縮減 低コスト(1台100万円以下を目標) 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動自律航行で4時間 もしくは100km航行 デジタルカメラにより 撮影 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 強風下でも安定して 自律航行可能
<p>↓</p>	<p>↓</p>	<p>↓</p>	<p>↓</p>
<p>面的連続データによる河川管理へ</p>	<p>低コストの水位計を実用化し 普及を促進</p>	<p>災害直後の迅速な 状況把握</p>	<p>天候の完全回復を 待たずに強風下でも 状況把握</p>
<ul style="list-style-type: none"> 航空レーザー測量システムを 大幅に小型化し、ドローンに搭載 グリーンレーザーにより水面下も測量 低空からの高密度測量 	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県・市町村 河川管理者等 	<p>長時間長距離飛行</p>	<p>強風下でも 安定自律航行</p>
 <p>ビッグデータ</p> <p>ドローン</p> <p>水中</p> <p>グリーンレーザーは、 水中を透過する</p>	 <p>クラウド</p> <p>IoT技術の応用</p> <p>状態監視</p> <p>データ</p> <p>水位計</p> <p>都道府県・市町村 河川管理者等</p>	 <p>新たな電池の採用等</p>	 <p>強風</p> <p>姿勢制御能力の高度化</p>
<p>河川管理の高度化</p>	<p>水位計、浸水センサーの増設</p>	<p>災害時の迅速な調査</p>	

【陸上・水中レーザーードローン】スケジュールについて(予定)

革新的河川管理プロジェクト
公募参加者募集 (11/2 ~ 11/24)

説明会の開催 (11/8)

【今回】 ピッチイベントの開催 (陸上・水中レーザーードローン: 12/15)

※「全天候型ドローン」、「クラウド型・メンテナンスフリー水位計」については今後開催予定

企業間でチームを組織

事業計画の作成

事業計画の確認

各チームにより開発開始

フィールド提供
(多摩川、由良川、菊池川、白川等)

現場実証・実装化 (H29夏~)